



ジョン万ニュース



姉妹都市スポーツ交流

子ども達が野球を通して姉妹都市の交流を図り親睦を深めることを目的に、各年度交互にスポーツ交流を行っています。今年度は8月2日～5日の4日間の日程で、姉妹都市である沖縄県豊見城市より、総勢28名のスポーツ少年団のみなさんが来清されました。

3日は午前中、四万十市のかわらっこでカヌー川下り体験を行い、その後市内に戻り、ジョン万資料館の見学、昼食は黒潮市場でのカツオの薫焼き体験を行いました。また、夕方には、あしずりまつの会場を見て回り花火大会を観賞しました。子ども達は、間近でみる迫力ある花火に、目を輝かせ夢中で見ていました。

翌日4日に開催された「第32回郵YOU杯少年野球大会」（会場：浦尻グラウンド）には、豊見城Aエンジェルス、豊見城Bロッキーズ、土佐清水ファイターズ、第四・江陽連合、大洲ジュニアタイガース、南宇和レッドファイターズの6チームが参加し、熱戦を繰り広げました。今大会は大洲ジュニアタイガースがみごと優勝いたしました。子ども達は炎天下に負けず、声をかけあい各チームそれぞれが力を出しました。

また、夜には交流会が行われ、試合を通してすっかり仲良くなった両市の子どもたちは、和気あいあいと交流し、アトラクションなど一緒になって楽しみました。あっという間の4日間ではありましたが、土佐清水市の食や文化、自然に触れ子ども達は「清水の夏」を満喫しました。また、今回の交流をきっかけに両市の絆が深まることを願っています。今後も、お互いのことを理解し、交流を深め姉妹都市交流を末永く続けていきたいと思ひます。

幕末の日本に
世界を伝えた国際人
ジョン万次郎
(1827～1898年)

ジョン万次郎は、1827年（文政10年）に生まれました。14歳の時に船に乗り、日々を過ごした後、幸運にもアメリカ上陸を果たします。米國で学び、決意、カリフォルニアの金鉱でとして活躍、坂本龍馬や岩崎



2019ジョン万次郎祭りツアー



10月3日（木）から10月9日（水）の日程で、姉妹都市であるフェアヘブーンにて開催された「第17回ジョン万次郎フェスティバル」に、土佐清水市姉妹都市友好協会が企画したツアーの参加者、土佐清水市 機協副市長や清水高校生3名、ウェルカムジョン万の会主催「ジョン万かるたとり大会」優勝者、土佐ジョン万会主催「ジョン万英語弁論大会」優勝者など、総勢20名で参加しました。

10月5日（土）は、少し肌寒いものの天候には恵まれフェアヘブーン町役場前にてお祭りが開催されました。今回も、祭り会場の一角に土佐清水ブースを用意していただき、恒例となった現地の

方の名前を漢字に当てはめて書く「書道コーナー」や折り紙やけん玉など日本の昔遊びを行い終日、沢山の方でにぎわいました。

また、「ジョン万次郎NHK大河ドラマ化」の署名コーナーも用意し、土佐清水ブースに立ち寄ってくれた現地の方々が署名してくださいました。

祭りの合間には、「万次郎トレイル」にも参加し、万次郎の通った小学校オールドストーンスクールなどを見学しました。高校生はじめ、ツアー参加者は積極的に英語を使いコミュニケーションをとっていました。

翌日は、万次郎が通っていたユニテリアン協会へ日曜日の礼拝に参加させていただきましたが、地元の参加者の方々にあたたかい拍手で一同は歓迎していただきました。

今回のツアーは、初日から飛行機の欠航や遅延など様々な試練が待ち受けていましたが、参加者はまさに「ジョン万スピリット」の精神であきらめず困難を乗り越え、万次郎の第二のふるさとフェアヘブーンへ訪れることができました。素晴らしい思い出とともに日本へ帰国することができました。

来年は土佐清水市にてジョン万祭りが開催される予定ですので、ぜひみなさまのお越しをお待ちしております。

オールドストーンスクール(万次郎トレイル)



清水高校生の感想

★清水高校1年 岡崎 裕太★

僕はこの旅に参加するのが2回目ということもあり、フェアヘブーンはどう変わっているのか見てみようと思いました。しかし、変わった所と言えば建物位で、フェアヘブーンは良い意味で何も変わっていませんでした。ただ、僕の中で大きな変化があったのです。

僕がこの旅に参加した真の目的は「外国の方といっぱいコミュニケーションをとること」でした。2年前、僕は英語しかない世界を初めて体験し、困惑して英語を話そうとしても失敗を恐れて、外国の方とは最小限でしか接することができませんでした。このことが悔しくて、1年間英語に力を入れてきたので、今回は自信を持って出発することができました。

アメリカでは1週間ずっと、英語を使っていたと思います。ホテルで、祭りで、空港でいろいろな方々と話していく中で、「1つの言語で世界と繋がる素晴らしさ」と「自分の伝えたいことが伝わる嬉しさ」をいっぱい感じることができました。

もちろん、失敗もしました。単語が出てこない時、文が支離滅裂の時がありました。その度に現地の方々が、「ナイス TRY」と言ってくれたので、まったく恐れず会話することができました。

この旅で僕は英語力の再認識と、失敗を恐れず挑戦する勇気を身に付けることができました。これほどの大きな変化があったのは、家族と清水高校、そして市役所の方々のおかげです。ありがとうございました。これからもフェアヘブーンとの交流が続くことを祈っています。



万次郎フェスティバル来場者と足踏踊り

★清水高校1年 渡邊 充貴★



僕は英語が得意で、自分の英語力がどれほど通用するのか試したくて、姉妹都市訪問に参加しました。しかし、実際面と向かってアメリカ人と話そうとしても学校の授業のように言葉が設定されていない状況で、英語を喋るのはとても難しいことでした。授業で英語ができて、今の自分の英語力

では外国では全く通用しないことがわかりました。ネイティブの人の発音は何を言っているのか分からないし、学校で聞いている英語とは全く違いました。

そして、アメリカと日本の文化の違いを自ら、体験することができました。食事では当然ご飯は出てこないし、おかずはあっても、主食はパンでした。とにかくこの6日間は、お米が食べたくてしかなかったです。毎日、ホテルから出る時はチップとして1ドル紙幣を置いていきましたが、日本にはそのような文化はないので、忘れたこともありました。英語があまり使えず、お店で注文を言うのに戸惑っていると、怖い店員さんに出くわすことがありました。優しい店員さんもありましたが、かなり緊張する場面もありました。

今回の旅で一番心に残っている事は、2度の飛行機の欠航があったことです。しかしジョンマンのことを考えると、彼も辛いことを乗り越えてアメリカに渡ったはず。自分たちも、もうアメリカへ行けないと思ったけど、なんとか着くことができました。「あきらめない、投げ出さない、人の役に立つ」というジョンマンスピリットにあふれる旅だったことが、一番印象に残っています。

次回、アメリカへ行く時は英語をもっと使えるようにしたいと思っています。



国立公園ビジターセンター



フェアヘブン高校にて



捕鯨博物館でのフレンドシップディナー



土佐清水ブースにて

日本の昔遊びと書道コーナー



ホイトフィールド万次郎友好協会の

みなさんと夕食会

★清水高校1年 片岡 純青★



僕は海外に対する視野を広げたいと思い、姉妹都市訪問へ参加しました。

初めて行った海外では、どんなことでもとても新鮮でした。標識1つを例にとっても、日本では見られないようなものがありました。おかげで飛行機の欠航など、トラブルが多かった日程でしたが、楽しみながら終えることができました。

今回の姉妹都市訪問では3つの収穫がありました。1つ目は、旅の目的であった海外に対する視野が広げられへたことです。実際にアメリカへ行ったことで、それまでどこか別世界のように感じていた海外が、自分たちの日常の延長にあることを実感できました。

2つ目は、フェアヘブンの人たちとの交流を通して、積極性や挑戦することの大切さを学ぶことができたことです。僕たちはフェアヘブン最後の夜、ジョン万友好協会会長ルーニーさん主催の食事会で、急遽ステージへ出て英語で発表する機会がありました。急なことだったので、あまり良い出来とは言えないものでした。現地は挑戦したことを認めてくれ、ほめてくれました。失敗してしまったので、発表しなければよかったと落ち込んでいた僕にとっては、新たな気づきでした。この気づきは、これからの人生において生かしていきたいと思えるものでした。

3つ目は、英語の大切さです。英語が得意でない僕にとって、アメリカでの生活はどこか疎外されているように感じました。特に、飛行機のエンジントラブルの際、問題を知らせる機内放送も僕には理解できませんでした。これらのことから英語の大切さを実感し、勉強に対する意欲を持てたことは僕にとって、とても幸運なことだと思います。

姉妹都市訪問は土佐清水市の援助のおかげで、経済的負担が少なく行くことができました。貴重な体験で得られるものも多かったため、今後もたくさんの人に参加してもらいたいです。

＊ツアー参加者の感想＊

「万次郎の生きる力にただただ驚いた。」 平成28年1月1日、初めて万次郎記念館に行き、すっかりジョン万次郎のファンになりました。後日、フェスティバルがあることを知り、参加。ルーニー会長さんの「来年はフェアヘブンへ来てください。」の言葉を受け、令和元年10月、彼の地を訪れることができました。

ジョン万祭りやパーティーで現地の方達と交流したこと。音楽や朗読やミサにも招待して頂き、合衆国の文化を体験したこと。万次郎トレイルを巡り、船長さんの家などが大切に保存されているのを知ったこと。ホイットフィールド氏（5代目）と握手したこと。どれも忘れることができない経験でした。ツアーに参加した人達とも親しくなれ嬉しかったです。帰国後の私は、車で出かけている時、ホテルで同室だったちはるさん（歌手）の歌う“ジョン万の見た海へ”（CD）を聴いたり、歌ったりしています。貴重な経験をありがとうございました。【斎藤さん】

ワシントンD.C アメリカ合衆国議会議事堂



ジョン万次郎江東の会に入り、万次郎さんのことを学び始めてから、万次郎さんが住んだフェアヘブンの町に、記念館となっている船長さんの家に行ってみたくて思っていました。念願かなってとてもうれしい旅でした。

「フェアヘブンは何もない小さな町」と聞いていましたが、その通りで、ホテルの向かいにはスーパーがありましたが、町の中心部は小さな店が一つある静かな住宅地でした。でも、中世の小さなお城のような町役場や教会、港などに静かな歴史を感じるすてきな町です。かつては、もっと家も少なかったでしょうが、十代の万次郎さんはこの静かな町で故郷を思いながらも勉強し、自身の力をつけることに励んだのです。まさしく第二の故郷です。ここでの生活は、言葉や人種、習慣の違いなど大変だったでしょうが、楽しくもあったのではないかと思います。ふと中浜の細い道と小さな生家を思い出し、あのままだら歴史に残る万次郎さんになったんだろうか、と思いました。まさに「運命を切り開いた人」です。そして、万次郎さんの能力を見抜き、教育を受けさせたホイットフィールド船長さんがすばらしい。そんなことを実感できたフェアヘブンの町でした。ユニテリアン協会のお茶会や交歓夕食会では、万次郎さんを受け入れてくれた町の人々のことを思いました。これからもこの交流が続きますように。ボストンの町もハーバード大学もワシントンも心に残っていますが、やはり一番はフェアヘブンです。ありがとうございました。【茶川さん】

ハーバード大学



～2019年度 特別会員のみなさまのご紹介～
あたたかなご協力ありがとうございます。



土佐清水市長 泥谷光信様・医療法人聖真会 渭南病院様・幡多信用金庫清水支店様・土佐清水青年会議所様・窪津共同大敷組合様・西岡造船所様・株式会社四国銀行清水支店様・株式会社高知銀行清水支店様・土佐清水商工会議所様・宮部様・一般社団法人 土佐清水市観光協会様・高知県漁業協同組合清水統括支所様・大旺新洋株式会社様・JA高知県三崎支所様・三間様・土佐清水商工会議所最高顧問 廣田勝様・中浜区長場様・山王テクノアーツ株式会社様・株式会社ウェルカムジョン万カンパニー様・株式会社南国建設様・土佐清水ライオンズクラブ様・株式会社近畿日本ツーリスト中国四国高知支店様・株式会社五光商事様・中野様

※個人様につきましては、苗字のみ掲載させていただいております。

第8回土佐清水ジョン万祭り

開催日決定のお知らせ

アメリカ(フェアヘーブン)と日本(土佐清水市)で毎年交互に開催されている、**ジョン万祭り**ですが、今年は**11月15日(日)**に土佐清水市で開催することが決定いたしました!!

(交流レセプションについては、14日(土)の夜に開催予定です。)

年々盛り上がりを見せるジョン万祭りですが、ジョン万次郎の縁で結ばれた姉妹都市の方々や、全国のジョン万ファンと交流することができる大変貴重な機会となっておりますので、みなさまのご参加・ご来場をお待ちしています。

***全国カツオまつりサミット**及び**宗田節まつり**と合同開催を予定しています。

内容など詳細につきましては、決まり次第、土佐清水市のホームページ・Facebook等でお知らせいたします。

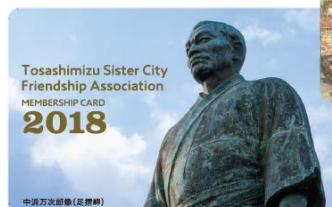
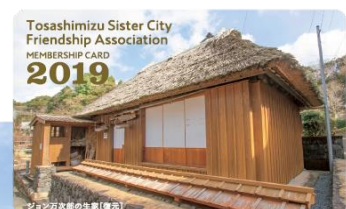


☆☆土佐清水市姉妹都市 友好協会会員募集中☆☆

ジョン万次郎が好きな方、土佐清水市と姉妹都市との交流や国際交流に興味がある、応援したいと思ってくださっている方等、どなたでもご入会いただけます。ジョン万次郎の偉業を見直し、姉妹都市の方々や文化にふれあってみませんか?

●年会費 普通会员1,000円以上 特別会員(団体) 10,000円以上

- 会員特典 ①会員証の発行(毎年デザインが違うよ♪)
②ジョン万次郎資料館 入館料無料!
③「ジョン万ニュース」送付



←2018年度・↑2019年度
会員証デザイン

